

AI企業が集う技術革新の場 -ヘルスケアで磨かれるAIの競争力-

2025年10月28日
株式会社日本総合研究所
先端技術ラボ

<本件に関するお問い合わせ先>

執筆者：先端技術ラボ 田谷 洋一

本レポートに関するお問い合わせにつきましては、当社ホームページの [問い合わせフォーム](#) よりご連絡ください。

本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢などの変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。尚、本資料の著作権は株式会社日本総合研究所に帰属します。



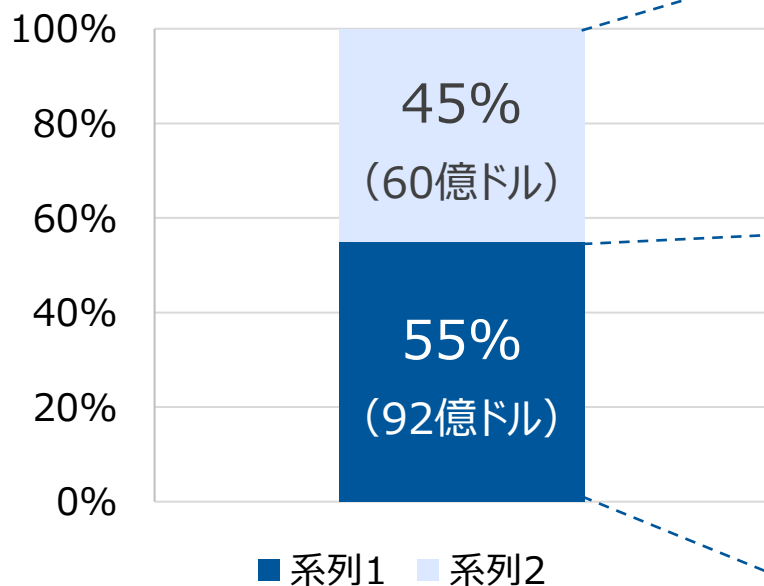
- 近年、AI企業がヘルスケア業界への参入を加速させており、2025年第一四半期には、AI分野で誕生したユニコーン企業11社のうち6社がヘルスケアソリューションを手がける企業で占められた。
- ヘルスケアAIの市場においては、米国が約4割の売上シェアを有しており、政府による支援、AI技術の進展、スタートアップの活発な動きなどを背景に、グローバル市場を牽引している。
- 一方で、米国におけるヘルスケア業界の要求水準は他業界と比較しても非常に高く、AIの実装に際しては、高度なデータ処理能力、厳格な規制対応、リアルタイム処理など、極めて高度な技術の導入が求められる。
- このような高い参入障壁にもかかわらず、多くのAI企業がヘルスケア分野に挑戦する背景には、どのような戦略的意図があるのだろうか。また、AIの導入が進む中で、ヘルスケア業界にはどのような変化が生じているのだろうか。
- 本レポートでは、こうした問題意識を踏まえ、AI企業がヘルスケア業界に積極的に参入する目的や、AI実装が進展する中での人間とAIの関係性の変化に着目し、米国をはじめとする先進事例を中心に、ヘルスケアAI市場における最新のデジタルビジネス動向を考察する。

1. AI企業が積極的にヘルスケア業界に参入

- 近年、AI関連企業はヘルスケア業界*への参入を積極的に進めており、2025年第一四半期には、AIセクターで誕生したユニコーン企業11社のうち6社がヘルスケアソリューションを開発する企業で構成され、医療機関や投資家から大きな注目を集めている。
- 後述するように、ヘルスケア業界には洗練されたAIソリューションを提供する企業が台頭しており、他業界への応用が可能な高度なAI技術の実装事例も多くみられる。同業界はAI技術の革新を牽引する先進的な領域として注目される傾向が強まっている。

AIセクターで誕生した11社のユニコーンのうち6社がヘルスケアAI

(図表1) 2025年第一四半期の
AIユニコーン企業の割合



(参考) CB Insights State of AI Q1'25 Reportを基に作成。
括弧内の数字はユニコーン企業の評価額の合計。

*ヘルスケアは健康管理を意味する広い概念で、病気の予防や健康増進、介護など、医療行為以外にも人々の健康全般に関わる活動を指す

業界	企業	評価額	サービス内容
製造	netradyne	14億ドル	配送運転者の安全運転支援
エンタープライズテック	clay	13億ドル	セールス自動化プラットフォーム
	hightouch	12億ドル	カスタマーデータプラットフォーム
	DREAM	11億ドル	サイバーセキュリティプラットフォーム
保険	Assured	10億ドル	複数分野の保険請求を自動処理
ヘルスケア	ABRIDGE	28億ドル	生成AIを活用したワークフロー自動化
	Open Evidence	10億ドル	医療従事者の臨床質問に回答
	Hippocratic AI	16億ドル	非診断業務に特化したAIEージェント
	Insilico Medicine	10億ドル	ディープラーニングによる創薬開発支援
	TRUVETA	10億ドル	医療データ分析プラットフォーム
	NEKO	18億ドル	センサーとAIによる早期疾患検出



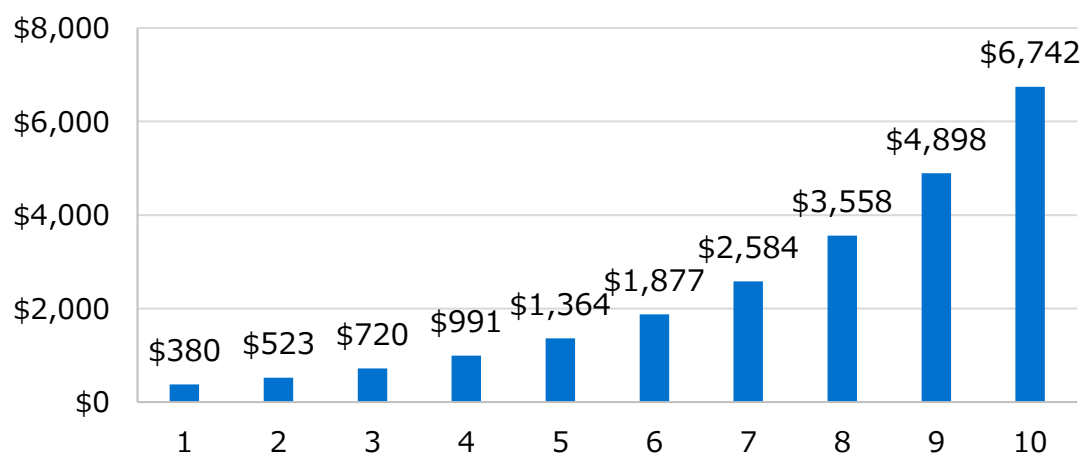
2. 米国ヘルスケア領域におけるAI導入加速の背景

- ヘルスケアAIの市場においては、**米国が約 4 割の売上シェアを占めグローバル市場を牽引**している。米国市場が急速に成長を遂げている背景には、**ヘルスケア業界が抱える様々な社会課題への対応策としてAI技術の実装が高く期待されている**点が挙げられる。
- 米ヘルスケア業界で社会課題が深刻化する一方、同業界には、**業務プロセスの効率化や医療の高度化、多様なデータ環境など、デジタル技術との親和性が高く、AI技術の進化にも寄与し得る領域が多く存在**していた。

ヘルスケアAI市場を米国が牽引

- **グローバルのヘルスケアAI市場は2025年の280億ドルから2034年には6,742億ドルに達する見込み**で、年平均成長率（CAGR）は37.66%と予測されている（図表 2）。
- 2024年のグローバル市場において、**米国が37.7%の売上シェアを占めており**、技術革新や政府の支援、スタートアップの台頭などによりヘルスケア市場を牽引している。

（図表 2）ヘルスケアAIの市場規模推移（億ドル）



（参考）<https://www.towardshealthcare.com/insights/ai-in-healthcare-market>を基に作成

米国ヘルスケア業界における社会課題とデジタル親和性

項目		内容
社会課題	医療費の高騰	2023年の米国の医療費支出は4.9兆ドルに達し、他の先進国の約2倍の水準。
	深刻な人材不足	2034年までに12万人の医師不足が予測されており、医療従事者の燃え尽き症候群が深刻化。
	ヘルスケア業界の財務危機	複雑な医療システムによる管理や設備投資などの運営コストの増加により、医療機関の経営状況が悪化。
デジタルとの親和性	業務プロセスの自動化による効率化	デジタル技術の活用により、診療報酬明細書の作成やカルテ記録などの業務自動化、業務負担を大幅に軽減することなどが期待できる。
	AIによる医療高度化	AIの進展によって、患者に応じたサポートの強化、AIを活用した創薬開発等、従来は実現が難しかった医療サービスの高度化が可能になりつつある。
	データ豊富な環境（データ分析）	ヘルスケア業界には、電子カルテや医療画像、バイオメトリクスデータなど、AIアルゴリズムの精度向上に大きく寄与する多様なビッグデータがある。



3. ヘルスケアAIの本質は異業種でも応用が可能な高度AI技術

- 医療機関や投資家から高く評価されているユニコーン企業のソリューションには、ヘルスケア業界が抱える課題に対して、医療サービスの質の向上を図るとともに、業務プロセスやリソースの最適化を実現するアプローチが見受けられる。
- これらの製品はヘルスケアに特化して設計されているものの、**その中核を成す機能は、ドキュメント生成や情報検索などの異業種でもAIの導入が進む領域における技術で構成されており、厳格な基準（P7参照）を満たす高度なAI技術として、他分野への応用も期待されている。**

（図表3）2025年ヘルスケアAIユニコーン企業のサービス（業界課題へのアプローチとソリューション分類）

			ソリューション分類
企業	設立・本社	サービス内容	
業務プロセスの自動化による効率化	ABRIDGE	医師と患者の会話をキャプチャし、リアルタイムで構造化された臨床ノートへと変換する。55以上の医療専門分野に対応しており、医療用語や文脈を的確に理解する高度な言語認識能力を備えている。	ドキュメント生成
	Open Evidence	自然言語処理を活用した医療文献検索サービス。AIが膨大な研究データベースを検索して、正確で関連性の高い回答を提供する。	情報検索
AIによる医療高度化	Hippocratic AI	受付業務や患者トリアージ、服薬サポートなどの業務を自動化。非診断業務に特化した患者対応AIエージェントを提供。	AIエージェント
	Insilico Medicine	創薬や創薬開発プロセスを支援。生成AIを活用した薬物設計や合成、臨床試験結果の予測、等のサービスを提供。	製品開発・検証
データ分析	TRUEVETA	研究機関や製薬会社などに電子健康記録（EHR）のデータ分析や薬剤開発等の評価・品質検証プラットフォームを提供	データ分析
	NEKO	センサー技術とAIによる分析を組み合わせた早期疾患検出システム。皮膚がんや血液異常、糖尿病などの早期発見に加え、血糖値や血中脂質の分析など、多様な生体指標のモニタリングを実現。	ユーザー分析・予測



- 近年、**FDA（米国食品医薬品局）は従来の慎重な審査姿勢から方針転換し、AI医療機器の承認を積極的に推進している**（臨床試験データだけでなく、医療現場で使われるAIのアウトプットについても医療の評価に含める方針に転換）。
- デジタル製品の有効性や市場からの要請、国際競争力の強化などを背景に、FDAはAI医療の発展を一層支援する姿勢を強めている。

主な理由	内容
パンデミックの影響でDXが加速 	➤ パンデミック以降、遠隔医療の利用は急速に拡大し、従来であれば数年を要すると見込まれていた医療分野のデジタル化が、わずか数ヶ月で実現された。 ➤ AI医療機器の導入や、医療の安全性向上を目的としたデータ活用の事例が蓄積される中で、FDAも医療分野におけるAI導入の効果を評価対象とするようになった。
市場からの強いプレッシャーと投資動向 	➤ 疾患の早期発見やパーソナライズド医療におけるAIの活用に対して、投資家の期待が一段と高まっている。2024年には、AI関連企業がデジタルヘルス分野における資金調達の42%を占め、過去最高を記録した。 ➤ こうした強い市場ニーズを背景に、FDAは、医療分野におけるAI導入の加速に対応すべく、迅速な規制整備を迫られる状況となっている。
国際競争力の強化において医療AIが重要な役割を担う 	➤ 連邦政府機関の半数がAIの導入を進めており、今後10年以内にAIが多くの政府機能を処理するようになると予測されている。 ➤ とりわけ医療AIは、国家のAI競争力を支える重要な要素として位置づけられている。※P6参照

* 医療は、一般的に病気の診断や治療といった医学的な行為であり、ヘルスケアという枠組みの中で行われる、より直接的な健康上の介入活動を指す

- **医療分野におけるAIの活用は、国家全体のAI競争力を強化する上で極めて重要な要素**として認識されている。
- 特に米国および中国は、イノベーションの促進やAIの広範な利活用を国家戦略として掲げており、EUと比較しても、より積極的かつ迅速にAI政策を推進する姿勢がみられる。

国	主な政策内容
米国	ホワイトハウスは、AI領域における世界的優位性を確立することを発表。イノベーション促進と患者保護のバランスを取りながら、世界最大のAI市場の形成を目指している。 2025年には医療関連のAI法案250件以上が提出され、17州で27件が法制化されるなど、政策面でも急速な整備が進められている。
中国	中国政府は「健康中国2030」を通じて、AIを活用した医療システムの近代化を推進している。本施策は、AI医療技術開発を国家優先課題として位置づけており、医療格差の解消や医療業務の効率性向上などにAIを活用することを掲げている。
EU	EUは、AI Actにおいて、医療用ソフトウェアなどの高リスクAIシステムに対して、リスク軽減や高品質なデータセットの利用、利用者情報の明記、人間による監視などの要件を課している。
日本	内閣府主導の「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」の一環として2018年から2022年にかけてAI病院構想が掲げられた。この構想では、超高齢化社会に対応するため、医療従事者の負担軽減、医療の質の確保、医療費の抑制といった課題解決を主要な目標として、AI技術の活用による医療システムの高度化が目指された。

イノベーション促進と患者保護を目指す、柔軟性重視のバランス型アプローチ。

海外技術の導入を歓迎しつつも、国内産業の競争力強化とデータ主権の確保を同時に追求。

最も厳格な規制。AI医療システムは高リスクと分類され、違反時には高額な罰金が科される可能性あり

バランス型のアプローチを採用。段階的な承認を設けることにより柔軟性を確保。



4. ヘルスケア業界がAI企業に求める高い水準(米国の例)

- 米国はデジタルヘルス市場を牽引する一方で、**同国におけるヘルスケア業界に対する要求水準は、他業界と比較しても極めて高い**
- ヘルスケア分野では、高度なデータ処理能力、厳格な規制対応、リアルタイムでの情報処理など、**あらゆる側面において高度に洗練された技術の実装が求められている**

#	要素	内容
1	高度なデータ処理 	➤ 健康記録や診断画像、ゲノムデータなど、極めて複雑で多様なデータの処理が求められる。 ➤ 高度なデータ処理要件をクリアするには、正確性や安全性の高い技術の開発が不可欠となる。
2	規制対応能力 	➤ ヘルスケア業界は最も厳格に規制された業界の一つであり、HIPAAやMDR（医療機器規制）、プライバシー要件、安全基準など、様々な規制への対応が求められる。
3	高い精度とリアルタイム処理 	➤ 患者の健康や生命に直結する判断が求められるため、AIのアウトプットの精度やリアルタイム処理技術を極限まで洗練させる必要がある。 ➤ 医療物資や検体の輸送などにおいても、遅延が許されないリアルタイムな処理が求められる。
4	説明可能性 	➤ 医療リスクの予測や推論過程、臨床判断など、様々なプロセスにおいて高い説明可能性や透明性が求められる。 ➤ また、医師と患者双方への説明責任が不可欠となる。
5	マルチモーダルAIの実装 	➤ ヘルスケアサービスは、画像や音声、テキストデータ、センサーデータなど、様々なタイプのビッグデータを有機的に結合して出力する高度なマルチモーダル技術の実装が求められる。



5. ヘルスケア業界で培われたAI技術が他業界へ波及

- ヘルスケア業界は、AI企業に対して極めて高度な技術力が求められる厳格な環境である一方で、こうした**高い要求水準に的確に応え、優れた技術力と市場でのプレゼンスを確立した企業は、ヘルスケア分野における競争優位性を確保するとともに、他業界への展開や応用の可能性も広がる。**



医療機器等の安全性を確認する機関の厳正な審査（米国の例をP9に記載）

ヘルスケア

1. 業界水準が厳格な反面、要件を満たす技術が企業の競争優位性に＝AI企業にとっての技術革新の場に



高度なデータ処理



規制対応能力



マルチモーダルAI

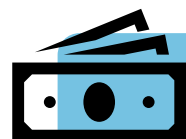


リアルタイム処理



説明可能性

2. 高い精度や安全性、規制対応などが求められる他業界への技術応用も可能に



金融



製造

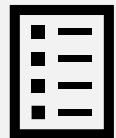


農業



IT

- FDA（米国食品医薬品局）は、AIを搭載した医療機器の承認に関する包括的なガイダンス草案を2025年1月に発表。
- **機械学習やディープラーニングを搭載した医療機器を対象に、ライフサイクル全体におけるリスク管理と品質確保の方法を提示。**
- 本草案では、AI医療機器の進化と安全性の両立を図るため、**柔軟性と規制のバランスを重視した枠組みが示されており、今後のAI医療機器開発における重要な指針となることが期待される。**

承認プログラムの主な項目	内容
対象の医療機器と 管理対象プロセス 	➤ AI医療機器（機械学習／ディープラーニング）、ソフトウェア機能を持つ医療機器（SaMD：Software as a Medical Device）を対象。 ➤ 医療機器のライフサイクル全体（設計、開発、販売、モニタリング等）におけるリスク管理および品質確保の手法を体系的に提示しており、安全性と有効性を両立させるための実践的な指針となっている。
事前変更管理計画 (PCCP) 	➤ AI医療機器が承認された後も、性能向上やアルゴリズムの改良を継続的に行うための枠組み。 ➤ スマートフォンアプリのように、事前にFDAと合意した範囲内であれば、再承認なしでアップデートが可能。 ➤ これにより、技術革新のスピードに対応しつつ、安全性と有効性の両立が図られている。
透明性と バイアス対策 	➤ AIの意思決定プロセスにおける説明責任（Explainability）の確保を重視。 ➤ アルゴリズムの設計段階からバイアスの検出・緩和策を求める。
マーケティング 提出書類への 記述事項 	➤ AI機能の詳細な説明（アルゴリズム、学習データ、性能評価方法など）を含めること。 ➤ 販売後の性能監視計画（Performance Monitoring Plan）を提出することを推奨。 ➤ 製品の安全性と有効性を長期的に担保する体制の構築が重要視されている。

製造業

- **医療機器で培った精密制御技術を産業ロボットに応用**
- 2025年1月、医療介護ロボット企業UBTech Roboticsと電子機器製造会社のFoxconnが戦略的パートナーシップを締結
- UBTechのヒューマノイドロボットをFoxconnの生産ラインに統合し、複雑で繊細な製造作業の効率化と精度向上を目指す
- **ロボットは取り扱い、仕分け、接着、品質検査など、労働者の健康に影響を与える可能性のある作業を担当**



(参考) <https://www.scmp.com/tech/big-tech/article/3294903/chinese-robotics-maker-ubtech-aims-revolutionise-apple-supplier-foxconn-manufacturing>などを基に作成

金融業（保険）

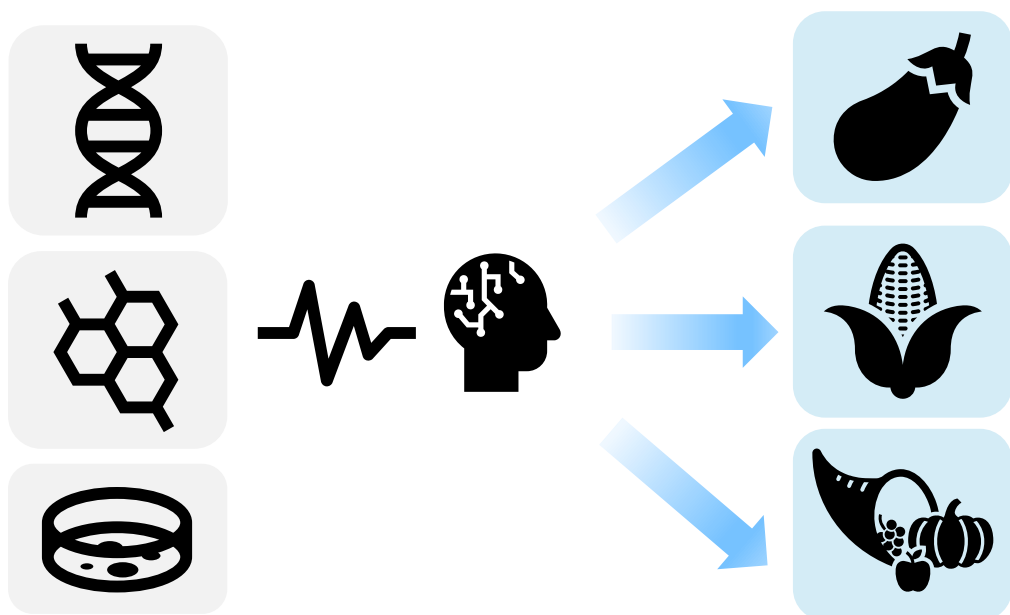
- アドバイザリー・ブローキングソリューションの大手企業WTWと健康データ分析会社の英Klarityは、**生命保険会社におけるプライシング機能の高度化を目的とした協業を開始。**
- 従来の死亡リスク指標（コレステロール値、血圧、BMIなど）に加え、**ウェアラブルデバイスから取得される心拍数、睡眠、活動量などのリアルタイムデータを活用することで、リスクセグメンテーションの精緻化を図り、より精度の高い保険料設定を可能にした。**
- **AIと健康ビッグデータを活用した新たな保険モデルの構築**を通じて、顧客エンゲージメントおよびロイヤルティの向上にも注力している。



(参考) <https://www.wtwco.com/en-gb/news/2025/08/wtw-and-klarity-collaborate-to-boost-insurance-underwriting-accuracy-by-harnessing-wearable-health>を基に作成

農業

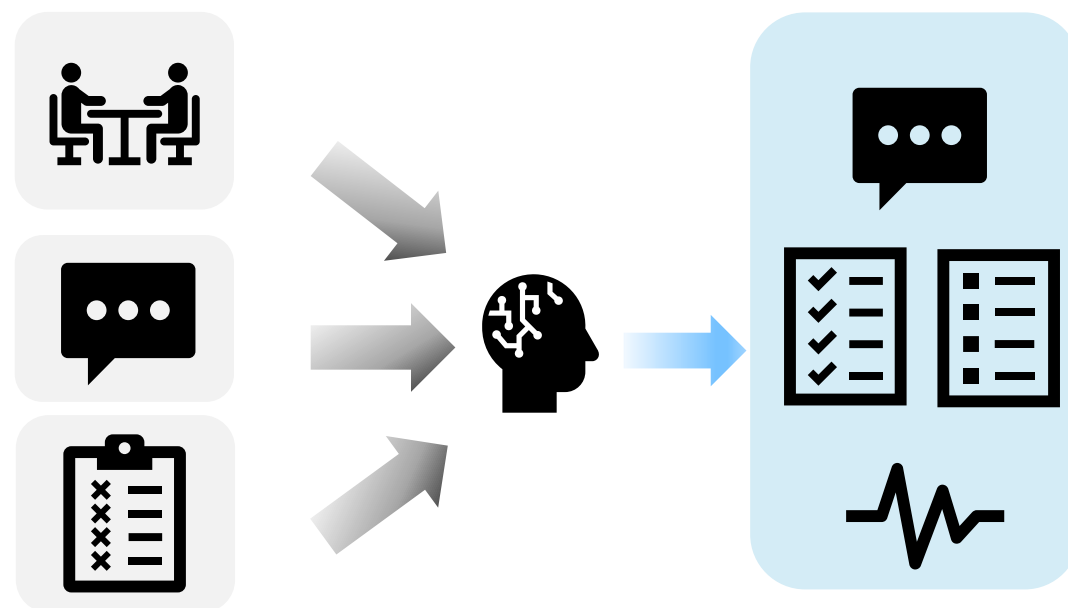
- ヘルスケアにおけるゲノムデータ分析のためのAI技術は、作物育成にも応用されている。
- NVIDIAはもともと製薬業界向けに開発していたプラットフォームを農薬業界に応用した。同社はCorteva Agriscienceと協業し、病気に強い作物の種子を生み出している。
- Benson HillのCropOSプラットフォームは、AIを使って最大85%の精度で大豆の育成予測を生成している。



(参考) <https://www.agtechnavigator.com/Article/2025/02/17/how-ai-healthcare-advancements-are-accelerating-innovation-in-ag/>などを基に作成

IT産業

- Microsoft 365 CopilotのAIアシスタント技術は、医療現場でのDragon Ambient eXperience (DAX) Copilotで培った文書生成技術をベースに開発されている。
- Copilotの「音声認識」「文書生成」「AIによる要約」などの技術は、精度や安全性、説明責任が厳しい医療分野で磨き上げられた後、そこで得たノウハウが他業界に応用されている。



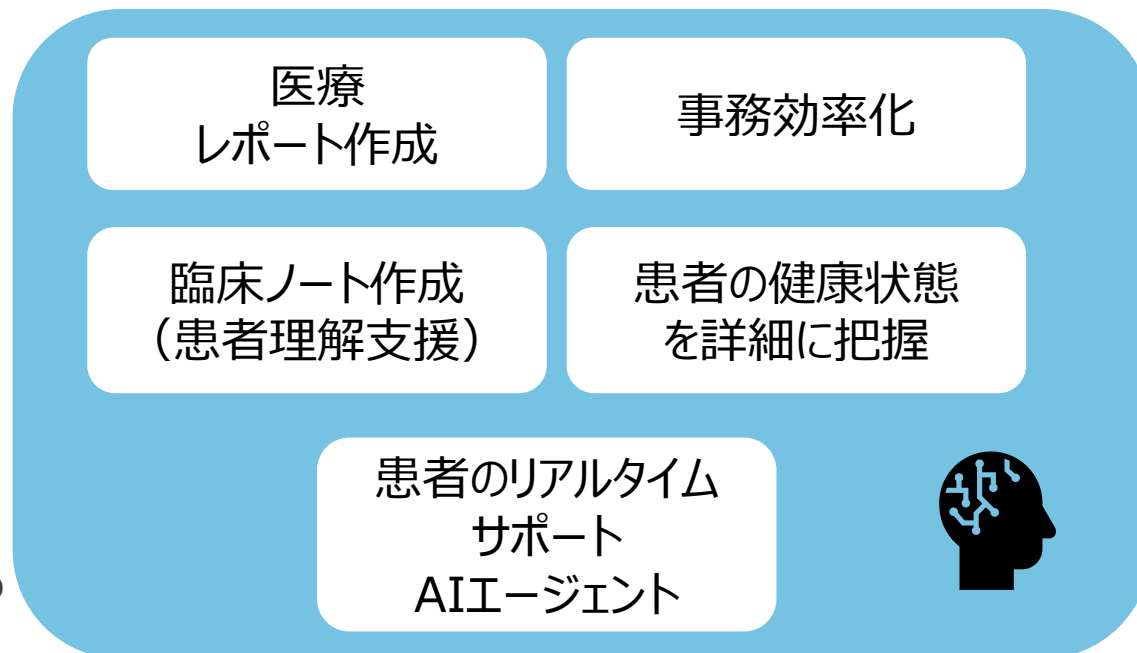
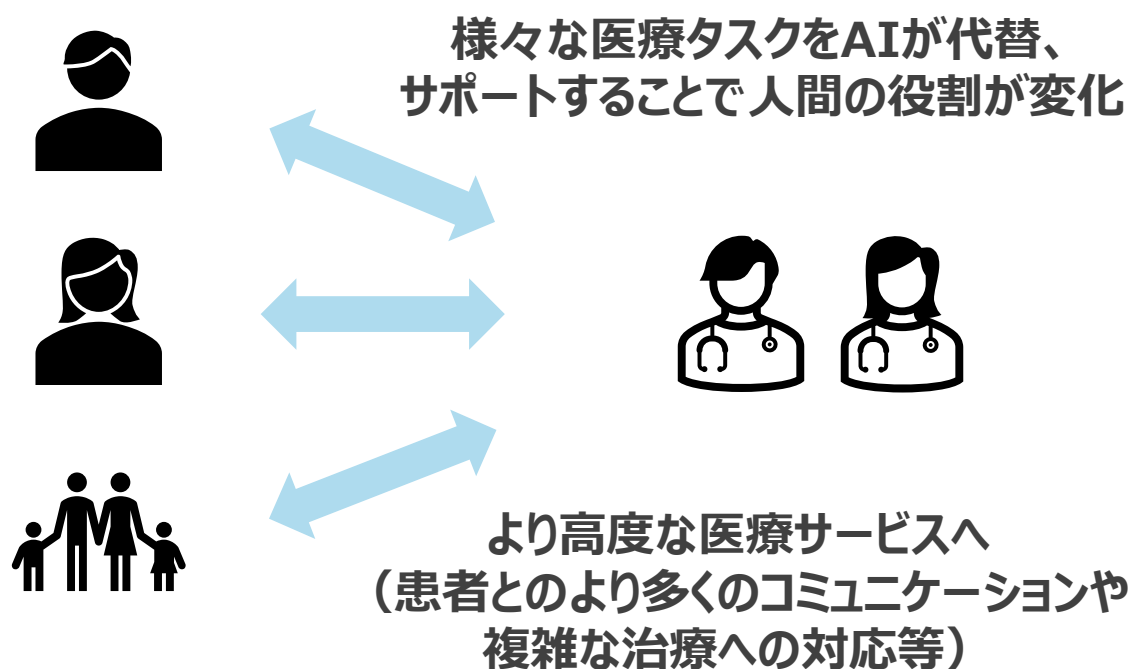
医療分野で培ったCopilot技術を様々な業務へ応用

(参考) <https://www.wtwco.com/en-gb/news/2025/08/wtw-and-klarity-collaborate-to-boost-insurance-underwriting-accuracy-by-harnessing-wearable-health/>を基に作成

- AIの実装が進展する米国のヘルスケア業界においては、従来の「AIが医療従事者の職を奪う」という懸念から、「AIは医療従事者の能力を拡張するパートナーである」とする認識への転換が進んでいる。

AIの実装による人間の役割の変化（医療の例）

- ✓ 医療現場におけるAI技術の導入が進むにつれ、医療従事者の役割は、単なる業務遂行者から、AIを活用して医療サービスの高度化を図る監督的・戦略的な役割へと移行していくと見込まれる。
- ✓ これにより、医療従事者は患者とのコミュニケーションや複雑な症例の分析、さらには医療機関の経営戦略の立案といった、より付加価値の高い業務に時間を充てることが可能となり、ヘルスケアサービス全体の質的向上が期待される。
- ✓ こうした変化は、医療の質の向上に加え、医療従事者の専門性の深化や職業的満足度の向上といった副次的効果ももたらす可能性がある





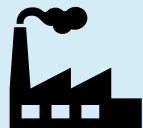
- ヘルスケア業界にとどまらず、他の産業分野においても、人間とAIの協働による新たな価値創造への転換が進んでおり、その具体的な事例が各所で見られるようになっている

金融業界（金融アドバイザー代替論からAIとの協業によるサービスの高度化へ）



- ✓ **投資アドバイザー**：AI支援マッチングプラットフォームが、顧客と最適な金融アドバイザーを結びつけ、人間の専門性とAIの分析力を組み合わせた新しいサービスモデルを創出（<https://www.datalignadvisory.com/>）
- ✓ **詐欺検知の協働モデル**：AIが異常パターンを検知し、専門家が最終判断を行う体制により、詐欺検知精度が大幅向上

製造・建設業界（作業員代替論から生産性向上パートナーへ）



- ✓ **プロジェクト管理AI**：AIがプロジェクトのスケジュールを最適化し、人間（プロジェクトマネージャー）が判断を実施
- ✓ **安全監視システム**：AI安全ガイダンスシステムが、リアルタイムに作業員の危険を検知し、事故率の削減を実現（<https://www.skanska.com/>）
- ✓ **精密作業支援**：AI支援クレーンアタッチメントを活用し、精密作業と生産効率を改善（<https://www.versatile.ai/case-study/turner-advancing-artificial-intelligence-with-craneview>）

法務業界（弁護士代替論から法務効率化パートナーへ）



- ✓ **契約審査AI**：定型的な契約条項チェックをAIが担当し、弁護士は複雑な法的判断と交渉に専念
- ✓ **判例検索**：AIが膨大な判例データベースから関連事例を抽出し、弁護士が法的対応を判断
- ✓ **文書作成支援**：定型文書の下書きをAIが作成し、弁護士が内容をカスタマイズ

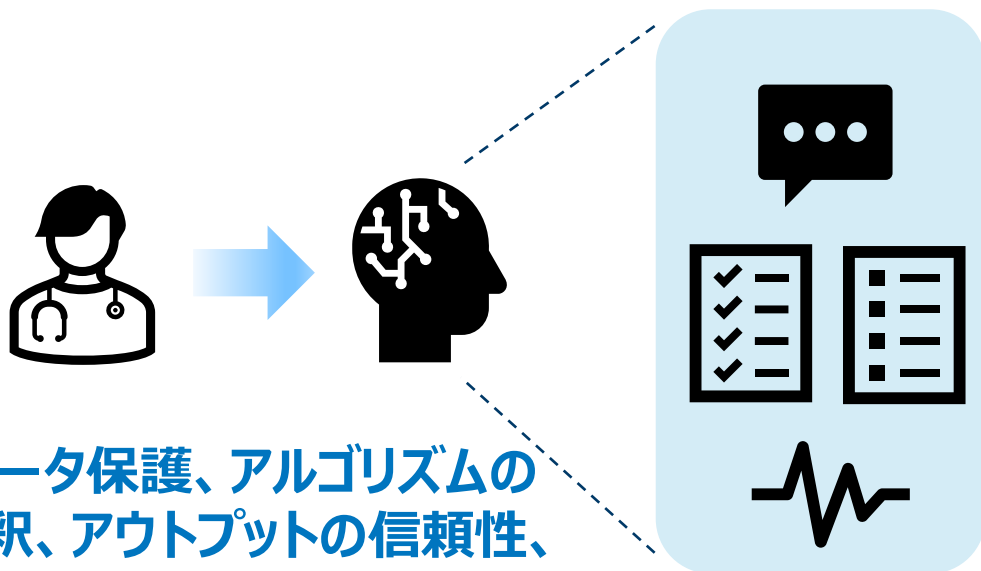


8. AIとの協働で求められる新たなスキルセットの必要性

- 人間とAIの協働によって実現されるサービスは、従来は解決が困難とされてきた社会課題に対して、新たなアプローチを可能にすると期待される。
- 一方で、こうした協働を効果的に機能させるためには、**人間とAIとの有機的な連携がこれまで以上に重要となることから、ヘルスケア従事者にはデジタルリテラシーの向上およびAIに関する専門知識の習得が不可欠**となる。

デジタルリテラシーの向上とAI専門職の設置が必須に

- ✓ AIとの共存によって、ヘルスケア従事者には新たなスキルセットが求められるように
- ✓ **データ保護やAIシステムの管理、アルゴリズムの解釈能力など、従来の医学知識に加えてデジタルリテラシーが不可欠に**
- ✓ **ヘルスケア業界では、倫理的で責任あるAIの実装を実現するための専門化された役割が新たに出現（右記）**



**データ保護、アルゴリズムの
解釈、アウトプットの信頼性、
規制への準拠、等**

ヘルスケア業界におけるAI専門職の例*

AI専門職の例	主な役割
Lead AI Governance Specialist	● 組織内におけるAIシステムのガバナンスを主導 ● 倫理や規制準拠などの枠組み（ガバナンスプログラム）を設立・運営 ● AIシステムの継続的監視と問題の特定
AI Governance Tracking and Reporting Specialist	● AIガバナンスプログラムを運用 ● ダッシュボードを使って、組織内のAIプロジェクトをモニタリングし、ポリシー・標準化・手続等を策定

- **AIを効果的かつ安全に活用するための体制整備や組織の変革が不可欠に**

*米国医療機関等の専門職の求人情報などを基に作成（2025年9月末時点）

- AIの実装が進展するヘルスケア業界においては、AI技術の革新とともに人間の役割も変化しており、AIの管理を含めた業務推進体制の再構築が不可欠となっている。
- ヘルスケア業界で起こる一連の変化は、AIの社会実装における先進的なモデルとして他業界にも波及する可能性が高く、AI活用を推進する企業にとって多くの示唆やインサイトを含んでいる。

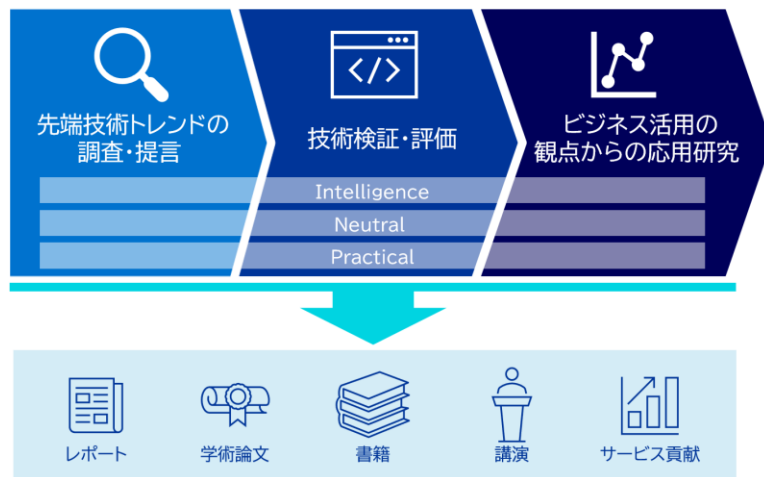


- 近年、AI企業はヘルスケア業界への進出を加速させており、2025年にはAIセクターにおけるユニコーン企業の約半数がヘルスケアソリューションを手がける企業となった。一方で、ヘルスケア業界が求める技術的要件は非常に高く、高度なデータ処理能力、厳格な規制対応、リアルタイム処理など、あらゆる局面で高度に洗練されたAI技術の実装が求められている。
- このような高い参入障壁にもかかわらず、AI企業がヘルスケア分野に挑戦する背景には、技術力を極限まで高めるという明確な目的がある。業界特有の厳格な要件をクリアすることは容易ではないが、それを乗り越えた企業は、他社に対して圧倒的な技術優位性を確立することが可能となる。
- 実際に、近年ではヘルスケア業界で培われたAI技術を他業界へ応用する事例も増加している。ヘルスケア分野で求められる高い精度、安全性、規制対応力といった特性は、他分野においても極めて有用であり、技術の汎用性と信頼性を裏付けるものとなっている。
- また、AIの実装が進むヘルスケア業界では、人間とAIが協調的に連携し、医療サービスの高度化を実現する事例も登場している。そこでは、AIを人間の能力を補完・拡張するパートナーとして捉える認識への転換が進んでいる。
- AI企業の参入や技術革新が活発に進行するヘルスケア業界の動向は、AIの社会実装における先進的なモデルとして他業界にも波及する可能性が高く、AIのグローバルトレンドを的確に把握するうえでも、同業界の変化を継続的に注視することが重要である。



先端技術ラボ

先端技術を活用したITサービスの創出に向けた技術の目利き役として、「先端技術トレンドの調査・提言」、「技術検証・評価」、「ビジネス活用の観点からの応用研究」に取り組んでいます。



主な研究・取り組み領域



当社ホームページの [特集サイト](#) では、IT分野における先端技術の調査レポート、及び所属する部員のプロフィール詳細がご覧いただけますので、ぜひご参照ください。

本レポート執筆者へのメディア取材や講演などに関するご相談につきましては、当社ホームページの [問い合わせフォーム](#) よりご連絡ください。

株式会社日本総合研究所

日本総研は、シンクタンク・コンサルティング・ITソリューションの3つの機能を有するSMBCグループの総合情報サービス企業です。

東京本社 〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目18番1号 大崎フォレストビルディング

大阪本社 〒550-0001 大阪市西区土佐堀2丁目2番4号



日本総研

The Japan Research Institute, Limited